

真宗佛光寺派  
大阪教区・  
別院だより

# 大悲

第34号

令和元年(2019年)  
7月1日 発行



半世紀 未来を照らす (吹田市・太陽の塔)

新元号「令和」がはじまりました。私自身、昭和を約二十年、平成を三十年余り生きたこととなります。そして五十歳を超え、最近、時間が経つのを速く感じるようになりました。毎月の法務や行事を営んでいくうちに、あつという間に一年が。子どもの頃はあれほど長く感じていたのに……。

これには訳があるようです。子どもの頃はいろいろなことを新たに体験し吸収していくので時間を長く感じ、歳を重ね経験を積むと新鮮なことがなくなり短く感じるからだそうです。日々のトキメキが減ってしまい、マンネリ化しているのでしょう。何とも耳が痛い話です。

「令和最初の〇〇」という言葉がテレビや新聞で飛び交う昨今。「令和初」は一度限りのこと。そうではなく、「今日初」つまり「日々の出来事を初事」として、感動をもって受け止めているかどうかを問いつつ、新しい時代を一日一日、歩んでいきたいものです。

(隅谷俊紀)



# と う ひ が ん 到 彼 岸



## 弥陀の大悲

常光寺 ささき たいち 佐々木太一

をたずぬれば 苦悩の有情をすてずして」というお心であります。

### 苦悩との向き合い方

苦悩渦巻く娑婆世界、この苦悩とどう向き合うのか。一つ目は苦から逃れることです。これが一番簡単そうですが、逃れることのできないのが苦の世界であります。二つ目は苦悩の原因を見極めて、それを克服していこうというものです。これも容易なことではありません。

そして苦しみから逃れることもできず、苦しみの原因を断ち切っていくこともできない私たちにとっての第三の道が、親鸞聖人がお示しくくださった南無阿弥陀仏の教えであります。

### 大慈大悲のみ仏さま

苦悩するあなたがそこにいるから、漏らさず救わずにはおかない、喚び続

けずにはおれないと阿弥陀さまの大慈大悲のお心が私たちに届いたのが南無阿弥陀仏の六字であります。

阿弥陀さまは、「おまえの苦しみ悩みはおまえひとりのものではない。この弥陀が共に受けてやるぞ」といつでもどこでも一緒にいてくださるので、苦悩の世界にあっても安心して歩んでいけるのです。

この姿かたちは見えずとも、称える六字の中に、しかとこの身に聞こえてくるのは常に私を案じる阿弥陀さまの親心。「ここにおるぞ」の喚び声をお聞かせいただいた今ここは、すでに阿弥陀さまの懐にあると味わわせていただきました。

(平成31年3月16日、正念寺で開催の)

大悲の会後援・布教大会より)



# 如<sup>じよ</sup>是<sup>ぜ</sup>我<sup>が</sup>聞<sup>もん</sup>

## 聴く覚悟〜臨床宗教師として〜

滋賀南教区 正福寺 石原<sup>いしはら</sup>真師<sup>まこと</sup>



平成30年12月15日、法友会  
研修会が開催され、石原真師  
よりお話を伺いました。

石原師は関西電力に勤務さ  
れながら、日々自坊の法務に  
いそしまれています。平成七  
年に、膵臓癌末期のお父さん  
を見舞われた時、お父さんが  
石原師に何か言いたげな表情  
をされるも、その思いを聞き  
取れなかったことが大変悔や  
まれたといえます。

この体験を通し、終末期の  
方の話を聴くお手伝いは出来  
ないものかと思ひ至り、人生

の転機となりました。同時に

阪神大震災で親族の方が被災

され、被災地を訪問する中で、

宗教者として何が求められる

かと自問されました。

以降、関西電力が出資する

高齢者介護や障害者雇用を行

う会社に出向し、メンタルケ

ア協会認定の精神対話士の資

格を得るなど、苦悩ある人に

寄り添い、傾聴する活動へと

実践の場を求められました。

### 臨床宗教師として

石原師は東北大学で臨床宗

教師の認定を受けられました。

現在は、京都府内の病院の緩

和ケア病棟（ホスピス）で、

患者さんから傾聴する活動や、

高齢者が「老い」について語

り合う「もしばなカフェ」に

取り組んでおられます。

日本臨床宗教師会の趣意書

には、「臨床宗教師とは、被災

地や医療機関、福祉施設など

の公共空間で心のケアを提供

する宗教者」とされ「布教伝

道を目的とせず、相手の価値

観、人生観、信仰を尊重しな

がら、宗教者としての経験を

活かして、苦悩や悲嘆を抱え  
る人々に寄り添います」とあ  
ります。

傾聴は自分本位に聴くので  
はなく、対象の方が自ら言葉  
にされることによって、自分  
の気持ちを整理されていくお  
手伝いであり、時には長い沈  
黙の中、ただ相手の言葉を待  
つこともあると話されました。

### 岡部医師の思い

「終末期の患者さんをケアし  
ていく道標としての専門家が  
必要。その場になぜ宗教者が  
出てこない」。臨床宗教師生み  
の親、岡部健医師の厳しい言  
葉も紹介されました。

人はなぜ生きて、なぜ死ぬ  
か。患者さんの人生をかけた  
問いを聴いていくのには、覚  
悟があると教えられました。

（長田 謙 記）

# 大阪探検

## あま 安満遺跡公園

阪急高槻市駅より北東に歩いて10分のところにある京大農学部農学部の農場は1928年に開設されました。

終戦後に行われた発掘調査で多数の土器や石器の他、農耕具、装身具など豊富な生活用具も出土し、この地が弥生時代(約2500年前)に米作りが始まった村跡で、淀川を通して各地と交流して栄えていたことが判明しました。

集落の移り変わりや土地利用が分かる遺跡はたいへんめずらしく、弥生時代の社会を知ることが極めて重要な遺跡です。そこで市民、行政一体となって遺跡保存の機運が高まり、2014年から安満遺跡を復元して展示館を建設し、

りました。

### 遺跡がオアシスに

現在建設中で2021年に全面開園(21・8ヘクタール)の予定ですが、まず今年の3月に公園の中央センターが開設されました。そこには高槻の特産品売り場、子どもの遊び場(有料)、多目的室などがありカルチャースクールなどにも利用されています。また広大な土地を利用したさまざまなイベントが催され、突然の大道芸に驚かされることもあるようです。別棟にはランチからディナーまで楽しめるイタリアンレストランもあります。

同時に災害避難公園として整備することにな

空の広い遺跡のオアシスで皆さんも癒されてください。  
(葦名 彰)



公園の入口



公園内



子どもの遊び場

#### 【アクセス】

- ・ 阪急京都線「高槻市駅」から徒歩10分
- ・ JR 京都線「高槻駅」から徒歩13分

# ごえんさんを訪ねて

こうほうじ 光宝寺 (大阪市東淀川区) 行友伸二 住職



光宝寺は約700年前に了智法師が開かれました。宝暦の初め火災で焼失しましたが、1760(宝暦10)年、本堂が再建されました。現在、新しく本堂と納骨堂を建てる計画が進められています。

昭和初期に境内地において淡路幼稚園を開園、1948(昭和23)年に児童福祉法整備に伴い淡路保育園としても認可を受け、地域の子どもたちを大切に育てられています。歴史ある幼稚園の隣に保育園を新築されています。

## 園長先生とご住職

ご住職は光宝寺住職と兼務して淡路幼稚園の園長先生、淡路保育園の理事長を務められています。取材にうかがった日も、かわいい園児たちに迎えられる「こんにちは〜」と声をかけられ優しい気持ちになりました。園児に囲まれ「園長先生!」と呼ば



子どもたちと「はなまつり」

れている姿からご住職の優しい人柄が伝わってきました。

また、「子どもたちに向けて、念仏の教えを伝えていきたい」と話すご住職は、布教使としても活躍されています。

その一方で、本山では宗会議員を勤められ、大阪教区を代表して教団の運営に携わるといふ多忙な日々を過ごされています。

## ご住職の活動

現在、本堂再建をすすめておられるご住職。報恩講、盂蘭盆会、永代経法要などの法要はご門徒さんとともに仮本堂にて勤められています。

子どもたちと親鸞聖人のお誕生日のお祝い、こども報恩講、はなまつりなど幼児を対象として法要もされています。

最近、揺らめく灯火に心を落ちつかせ、浄土に還られた方々に思いを馳せておかげさまと感謝する、萬灯会法要なども始められました。

プライベートではフルマラソンに挑戦されるなど、いろいろなところで活躍されているご住職です。

(寿栄松正顕)

■光宝寺(こうほうじ)

T 533-0023

大阪市東淀川区東淡路4-22-5

電話 06-6321-0608

Fax 06-6321-0885

# 大悲トピックス

## ■勝友会布教大会が大別院にて開催

5月30日、大阪別院本堂にて、令和元年勝友会（佛光寺派の布教使の会）布教大会が開催されました。大阪教区のご門徒と勝友会会員合わせて約100名が参加。

共通テーマ「お念仏の中の生活」のもと、門川崇志布教使（大阪・浄方寺）、市河原啓正布教使（滋賀南・西願寺）、有馬道文布教使（長崎・正覚寺）、鎌田顕道布教使（滋賀南・専念寺）による布教に耳を傾けました。



勝友会布教大会の様子

親鸞聖人が慶ばれたお念仏は、私のいのちの道筋を示してください。さる「智慧の念仏」であると門川師は説いてくださいました。

（大阪別院輪番 葦名 彰）

## ■佛青懇和会・声明研修会開催

6月7日、大阪別院にて第6組・報恩寺住職であり、式務衆を中心とした会、龍音会会長でもある寺田宗隆師をお迎えして声明研修会が開催されました。



声明研修会で講義をされる寺田師

平素お勤めする勤行を中心に講義いただいたことで自分の声明の間違いに気づく大事なきっかけをいただきました。

（佛青懇和会会長 玉出宗順）

## ■懇志御礼

三重県いなべ市 東光寺様

御本山 **近** 用達

株式会社 **川勝法衣店**

フリーダイヤル 0120-075-055  
 (〒600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入  
 電話 (075) 371-0367(代)  
 FAX (075) 371-5088

本山佛光寺 御用達

石の総合メーカー

株式会社 **石留石材**

ホームページ  
<http://www.ishitome.co.jp>  
 本社：京都市中京区堀川御池角  
 TEL 075-841-1149 FAX 075-812-5826

- 大正三年創業の信頼と実績 -

石留石材株式会社

各種石塔・石仏・記念碑  
 寺社建築石材まで

○ご相談は下記フリーダイヤルへ 携帯・PHS OK

**0120-53-5578**

[本社・工場・展示場] 藤井寺市津堂2丁目9番29号

浜屋は関西最大級の  
 お仏壇・お仏具・墓石・御寺院お仏具の  
 専門店です。

やすらぎの  
 世界を創る **浜屋**

通話料無料/浜屋姫路本社フリーダイヤル

お問い合わせ  
 お申し込みは **0120-1616-94**

●受付時間/午前10時～午後6時30分

燦ホールディングス グループ

まごころ葬儀を創造する。

**公益社**

公益社 ご葬儀相談センター (24時間・365日受付、通話料無料・携帯電話OK。)

**0120-567-701**

※2012年5月現在 [2-0131]

燦ホールディングス グループ

なごみ庵

**きたはま**

KITAHAMA

法要料理 希望の場所までお届けします。

■四條驛店 ☎0743-78-7521  
 ■瓜破店 ☎06-6769-0140  
 ■伊丹店 ☎072-773-7531

※2012年5月現在 [2-0132]

# だいひ 絵日記

④

- 4月25日(木) 大悲の会編集会議 (第34号読み合わせ)
  - 4月26日(金) さつき会総会 ①
  - 5月18日(土) 佛青懇和会総会 ②
  - 5月23日(木) 大悲の会編集会議 (第34号読み合わせ)
  - 5月30日(木) 勝友会布教大会 (大阪別院にて)
  - 5月30日(木) さつき会研修会 (勝友会布教大会聴聞)
  - 6月5日(水) 法友会総会 ③
  - 6月5日(水) 大阪教区総会 ④
  - 6月7日(金) 佛青懇和会研修会 (声明研修会・講師：寺田宗隆 師)
  - 6月25日(火) 大悲の会編集会議 (第34号発送作業・第35号内容検討)
- (法友会=住職会、さつき会=坊守会、佛青懇和会=青年会)



## 和奏の会 翠笛会

寺院のイベントに邦楽(尺八・箏)出張演奏いたします。  
 曲目はリクエストできます。  
 事務局：阪南市新町 宝林寺  
 電話 072-472-1414  
<http://homepage2.nifty.com/suiteki/>

創業安政3年

京 佛 具 調 進

森田屋

## 福野御佛具處

〒601-8424  
 京都市南区西九条猪熊通九条上る  
 tel. fax 075-691-8423

「大悲の会」御用達

## 鮎 旬魚菜 さぐち

地下鉄御堂筋線あびこ駅前  
 tel. 06-6696-6880  
 〒558-0011 大阪市住吉区お田 7-5-20  
 さつきマンション 1F

協 賛

法 友 会  
 さ つ き 会  
 佛 青 懇 和 会

仏跡参拝なら専門旅行会社にお任せ下さい!!

～歩もう仏陀の道のりを～



株式会社 モントラベル

〒550-0013  
 大阪市西区新町1-8-1 行成ビル  
 お気軽にお問い合わせください  
 TEL. 06-6531-1344

宗  
 懐  
 石

慶事、仏事、各種会合等の際は、  
 和光菴の仕出し料理を  
 御利用下さい。

和  
 光  
 菴

株式会社 和光菴  
 〒543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町3-32  
 TEL06-6774-8090 www.wakouan.co.jp  
 西天満店 結心(ゆいごころ)  
 〒530-0047 大阪市北区西天満4-10-5-1 階  
 TEL06-6809-6311 www.yuigokoro.com



どなた様でもお参りいただけます

## 法要・法話会のご案内



### 大阪別院孟蘭盆会

8月13日(火) 午後2時  
8月14日(水) 午後2時  
8月15日(木) 午後2時

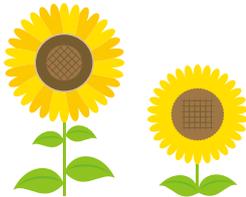
### 大阪別院彼岸会

9月20日(金) 午後2時  
法話：寿栄松正顕 師(西光寺)  
9月23日(月・祝) 午後2時  
法話：脇阪義仁 師(霊松寺)  
9月26日(木) 午後2時  
法話：行友伸二 師(光宝寺)

### 大阪教区寺院で開催される法話会

◎常光寺(大阪市淀川区・06-6391-5319)  
7月6日(土)～8日(月)  
「紫陽聞信会」 午前9時半、午後1時  
6日 法話：釈 徹宗 師  
7日 法話：西田眞因 師  
8日 法話：一楽 真師

※詳細は各寺院にお問い合わせください



### 「大悲の会」後援・布教大会

高照寺(堺市北区・072-252-2122)  
7月20日(土) 午後3時  
法話(第一席)：寿栄松正顕 師  
法話(第二席)：行友伸二 師  
法話(第三席)：寺田宗隆 師

## 編集秘話

大阪別院には、十六点もの大阪市指定有形文化財があります。その中でも文和4(1355)年の記述の有る最も貴重な『絹本着色方便法身阿弥陀如来画像』をこの度、大阪市教育委員会の協力を得て、修復していただいています。別院の報恩講さんには皆さまと共に拝めることを楽しみにしています。(葦名)

## 編集後記

「歳を重ねると時間が経つのを速く感じる」もう一つの理由は、昔と比べることによって生じるのだそうです。5歳の頃の1年は人生の中の5分の1を占めるのに対して、50歳では50分の1。つまり同じ時間であっても10倍感じ方が違うのだとか。ということは、5歳のときの1日と、50歳での10日が同じように……。 (隅谷)

大阪教区・別院だより『大悲』 第34号(夏号)  
令和元年(2019年)7月1日発行 (発行部数2200部)  
発行：大悲の会  
事務所：佛光寺大阪別院内  
〒558-0011 大阪市住吉区苅田6-11-24 電話06-6691-1362  
郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」  
大悲ホームページ <http://daihi.org/>

大悲の会  
長田 譲(会長) 佐々木太一  
隅谷俊紀(副会長) 葦名 彰  
寿栄松正顕(会計)  
玉出宗順(会計)  
門川崇志(監事)